



車いす使用者の生活支援

段差解消機を多段の段差に対応させる後付け式ユニット

技術分野分類 90150：福祉用具・リハビリテーション科学・福祉工学

技術キーワード 18：福祉用具・支援機器

産業分類 P-85：社会保険・社会福祉・介護事業

内容	概要	日本の家屋の玄関によくある上がり框のような、多段の段差を車いすで乗り越えることができる。
	従来技術・競争技術との比較 (優位性)	一般的な段差解消機は一段の段差にしか対応していない。本技術を使うことで多段の段差に対応させることができる。また、既存の段差解消機に取り付けることで使用するの、段差解消機自体を買い替える必要がない。
	本技術の有用性	後付け式なので段差解消機自体を使用者の能力に合わせて選ぶ事ができる。既に段差解消機を設置している人でも導入が可能である。安全のための機能、経年や設置時の誤差による高さのずれにも対応できる。
関連情報 (図・表・写真等)	 <p>多段の段差解消に関する機能を厚さ 40mm の本体内部に収めてある。昇降時に飛び出すのを防ぐ安全装置、装置と移動先での高さの違いを吸収する安全装置なども備えている。</p>	
適用可能製品	本技術を活用することで福祉機器として実用化が可能である。既存の段差解消機に後付けで取り付けられるので安価に販売できる。	
技術シース保有者	氏名 所属・役職	小林 裕介 機械工学科 准教授
技術シース照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	地域共同テクノセンター 026-295-7117 / 026-295-7124 nrtc71@nagano-nct.ac.jp

■知的財産 なし

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2018年11月16日